

2018 くすのき

**VOL.29**

# 樟 樹

## 100周年特集

樟樹会 別府洪西高等学校同窓会

# 新クラブハウス



## 50年目の卒業式

昭和43年3月卒業 近藤 徹雄

昨年の3月中頃に、突然、大西教頭先生(当時)より、43年卒業生を「50年目の卒業式」に招きたいので、その世話人をお願いしたい旨の連絡が入りました。思いがけないことで少し時間を頂いた後、受諾致しましたが、我々の学年の同期会は50年もの間1回も開催されていなかったため、さて何人位集まってくれるのか不安で一杯でした。結果はやや少なめの22名の参加予定となり、ひとまず安心致しました。

卒業式当日、9時過ぎには22名の同期生が集まり、久しぶりの再会を喜び合い感無量になりました。その後、畑田会長より「50年目の卒業式」の主旨等の説明を頂き、卒業式が行われる体育館に移動致しました。

我々の席の前にはストロープが置かれているという御配慮に対し嬉しく思いながら、厳粛で素晴らしい卒業式に深く感動し、今回の卒業生を始め、後に続く後輩の皆さんが世に大きく羽ばたいて頂きたいとの思いと母校愛が込み上げてきました。

式終了後、参加者全員で記念写真を撮って頂き、その後、「ユアーズ」

に移動し、式参加者より9名多い31名で懇親会を開催致しました。遠くは、千葉、東京、大阪等より、馳せ参じてくれた人もおり、一人一人現況報告をし、楽しくて有意義な時間を過ごすことができました。最後に、この有り難い企画をして頂いた西高及び同窓会の関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。



# 会長就任のご挨拶



樟樹会会長  
のお  
妹 尾 次 郎  
昭和55年卒  
(旧姓 佐々木)

新居浜西高同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

ご高承の通り、我が母校新居浜西高等学校は昨年めでたく創立100周年を迎え、すべての記念事業を成功裏に終えることが出来ました。これも、ひとえに同窓生の皆様を始め、PTA・教職員・関係各位の皆様方の物心両面にわたるご厚志の賜物であり、改めて御礼を申し上げます。本当に有難うございました。

さて、去る5月17日に開催されました理事会におきまして、不肖ながら私が次期会長に選出されました。正式には、8月4日に開催予定の総会にてご承認を頂いてからのこととなりますが、伝統ある新居浜西高等学校の同窓会会長を拝命することは、光栄であると同時に大きな責任を担うことにもなり、身の引き締まる思いでございます。前任の畑田会長様は、7期14年に

巨り会長職をお務めになられ、創立100周年記念事業期成会の会長としても強いリーダーシップを発揮され大役を全うされました。心より敬意を表しますと共に慰労申し上げます。

ここで、私のプロフィールを簡単に紹介いたします。昭和36年(1961年)に、新居浜で生まれ、角野小学校、角野中学校を経て西高に入学。昭和55年(1980年)に卒業し、大阪府立大学へと進学致しました。大学卒業後は、広島の東洋工業(現マツダ)に就職した後、結婚を機に新居浜に戻り、エネルギー及びリフォーム事業を主体とする正起ガス(株)に入社し、地域密着型の事業に従事し、現在に至っております。

同窓会との最初のかかわりは、新居浜に戻ってから暫くして同窓会総会に参加したのが最初であったと記憶しています。同年代が大勢来ているものと思いきや、大先輩ばかりで、自分のような若造は場違いだと思ひ、それ以来ずっと遠ざかっておりました。8年前に前任の畑田会長様よりお声掛け頂き、いきなり普通科副部長に任命され、6年前に普通科部長に就きました。正直なところ、同窓会役員としての自覚も薄く、他の役員の皆様が付いていくだけという状況でした。しかし、一昨年に発足された創立100周年記念事業期成会の「記念オブジェ及び中庭整備委員会」の委員長に任命され、ようやく同窓会役員としての自覚が芽生え始めたというお恥ずかしい経緯でございます。画期的な現代アートの記念オブジェを制作して頂いた方が卒

業生(矢原繁長氏・昭和54年卒業)でもあり、協力的且つ積極的な委員会メンバーにも恵まれ、事業を無事終えることが出来ました。記念オブジェに象徴されるように、創立100周年記念事業を通して、同窓会の存在意義やその有難さが初めて身に染みてわかった次第です。

我が樟樹会は、昭和28年(1953年)に本部が設立され、創立70周年を控え昭和62年(1987年)に東京樟樹会、近畿くすのき会、松山樟樹会が設立されました。そして、創立90周年を機に平成21年(2009年)に東京樟樹会改め東日本樟樹会が設立され、全国的な組織に広がって参りました。ここまでに至るには、歴代会長様を始め多くの同窓生の皆様の弛まぬ努力の積み重ねがあったからこそだと思います。心より敬意を表したいと存じます。

樟樹の樹齢は、1000年とも2000年以上とも言われており、長寿の樹の代表です。「母校の発展に寄与する」という樟樹会の目的を達成するために、伝統を守りつつ時代にあった同窓会運営を目指し、樟樹の年輪の如く毎年少しずつでもいいから確実に同窓の輪が広がり、来る未来へタスキをつなげるよう、役員一同力を併せて努力を致す所存でございます。皆様には、今後もより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様は今後益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、会長就任のご挨拶とさせていただきます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

# 創立100周年記念特集

## 樟樹会10年の歩み ～物心両面にわたる母校への支援～

### 樟樹会10年・主な出来事

年月日	主な出来事
平成20年 6月19日	“合格シール(デザイン秦一博先生)、を特注、一宮神社で毎年ご祈祷していただき、西高祭チャリティーバザーで、たこ焼き・焼きそばパックに貼り販売
平成20年 8月12日	樟樹会会則 第3章 役員 第7条の改訂により、役員再編成
平成21年 5月31日	東日本樟樹会発足
平成22年 8月7日	樟樹会会則 第6章 会計 第24条の改訂により、会費規定の変更
平成24年 4月25日	樟樹会会員名簿 2012年版発行 (編集 樟樹会・出版 株式会社サルト)
平成26年 1月	“50年目の卒業式、企画開始、卒業後50年目を迎える同窓生に案内を送付 以後毎年実施
平成26年 3月1日	昭和38年度(39年3月)卒業生を母校の卒業式に招待
平成26年 6月18日	西高祭チャリティーバザーにおけるたこ焼き・焼きそば・フランクフルト等の販売を終了 翌年から“合格シール、を添付した“西高どら焼き、を販売
平成28年 1月31日	愛媛県立新居浜西高等学校 創立100周年記念事業期成会発足
平成28年 7月25日	樟樹会会員名簿 100周年記念版発行 (編集 樟樹会・出版 株式会社サルト)
平成28年11月1日	募金趣意書により、募金活動を開始 (募金期間は1年)
平成29年	100周年記念事業

### 記念祝賀会



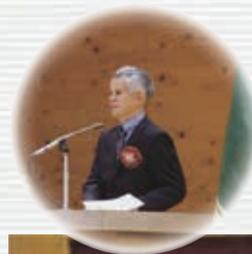
創立100周年を祝して全国各地から西高同窓生が集まり、記念祝賀会が盛大に開催されました。懐かしい級友や恩師との再会に歴史を感じ、心地よい音楽と美味しい料理やお酒を楽しみながら、心に残る慶びの宴となりました。

創立100周年記念特集(2頁～5頁)は、創立100周年記念誌「樟樹100年の息吹」から抜粋。

### 記念式典



### 記念講演



**演題**  
「これからの『共生社会』を  
生きるために」

**講師**  
東京大学大学院教育学研究科  
准教授 星加良司  
(平成5年度卒業)



### 芸術鑑賞会



高橋達也 テノール・リサイタル (平成17年度卒業)  
ピアノ 長野彩音 (平成22年度卒業)

### 記念ゴルフコンペ

平成29年11月11日(土)に、滝の宮カントリークラブにおいて、100周年記念の一環としてゴルフコンペが開催されました。

参加者は35名で、好天にも恵まれ、皆様には楽しく過ごしていただけたことと思います。



# 樟樹100年の息吹

—新たな伝統を紡ぎ出し、輝く未来へ—

テーマ制作  
西川 咲 希 (2年)

揮毫  
藤原 栄 二 (本校講師)

## シンボルマーク



制作 秦 一 博 (元本校教諭)

### 100周年シンボルマーク意匠について

100周年シンボルマークは、元本校芸術科秦一博教諭が作成し、平成27年樟樹会総会で承認された。このマークは、下記の2つのモチーフで構成されている。

- ①「新居浜西高」の「niihama west」とhigh schoolの頭文字である「h」の字形。
- ②「100周年」を表す、「100th」の字形。

配色は四国の青い空と海をイメージした青と、スクールカラーであり樟葉をイメージしたライトグリーンでできている。

マーク全体としては、丸い円弧の枠中に全ての字形が納まるのではなく、westというロゴの最初の「w」の一部が数字の「1」となっており、それが新居浜西高の100年の歴史をイメージした丸い円弧から抜け出すような位置に描かれていることで、100周年を過ぎた後に新たな歴史を築くべく、新たな一歩を踏み出そうとする意志を表している。

## 生徒会マスコットキャラクター



制作  
西谷 さくら  
(平成28年度卒業)

### 「くすのっきー」制作意図

- ①100年もの伝統ある西高なので、昔から変わらずある樟葉マークの校章をかぶらせた。同窓会の方々が見ても懐かしく親しみを持って、現生徒が見ても誇りある伝統を感じることができる。
- ②前髪の形はWで、West(西)を表している。
- ③表情は円をたくさん使い、丸みのあるやさしい感じにした。
- ④淑女と紳士ということから、男女の区別のない体と、頼りになりそうな手のポーズにした。
- ⑤頬は桃色(椿寒桜に近い色)。

## 記念行事・記念事業概要

- 樟樹会会員名簿 創立100周年記念版発行  
2016年7月25日
- 記念招待試合(サッカー)  
2017年5月27日
- 記念招待試合(野球)  
2017年5月28日
- 記念西高祭  
2017年6月16日～17日
- 航空写真撮影  
2017年7月27日
- グランドピアノの購入、お披露目演奏会  
2017年8月12日
- 校旗の購入  
2017年9月4日
- 記念運動会  
2017年9月7日
- 記念オブジェの設置及び中庭の整備  
2017年10月
- 記念オブジェ除幕式  
2017年10月16日
- 創立100周年記念式典  
2017年11月10日
- 創立100周年記念講演  
2017年11月10日
- 創立100周年記念芸術鑑賞会  
2017年11月10日
- 創立100周年記念祝賀会  
2017年11月10日
- 記念会館の改修  
2018年2月
- 第2グラウンドの整備  
2018年2月

## 記念品



◀記念クリアファイル



記念タオル▶

# 記念招待試合

サッカー 5月27日



野球 5月28日



100年めのくすのき春夏秋冬

6月16日・17日

# 記念西高祭

～君が春、樟樹よりも青く



平成29年7月27日撮影

▼ LUNKHEAD ライブ



西高生の主張 ▶



8月12日

# グランドピアノ お披露目演奏会



# 秋

9月7日

## 記念運動会

～100年目の伝統 今、空へ



◀ パネル

▲ 復活した大行進



▲ 生徒代表 宣誓

11月10日

## 記念式典 ～樟樹100年の息吹

新たなる伝統を紡ぎ出し、輝く未来へ



## 記念オブジェと中庭の整備



▲ 100周年記念オブジェ「思考」 矢原繁長氏(昭和53年度卒業)作



▲ 100周年記念オブジェが設置され新しく整備された中庭

## 記念会館の改修



▲ 記念会館改修 完成予定図

## 第2グラウンドの整備



# 生

にわたり活躍されている  
するコーナーです

# 介

## Profile

昭和58年 新居浜西高等学校普通科 卒業  
同志社大学法学部法律学科入学  
昭和63年 同 卒業  
平成7年 司法試験合格  
平成10年 大阪弁護士会登録  
平成16年 愛媛弁護士会登録替え  
松山市に法律事務所開設  
平成20・21年 愛媛弁護士会副会長  
平成29年 愛媛弁護士会会長、日本弁護士連合会理事  
現在 四国弁護士連合会常務理事  
愛媛県収用委員会会長  
全国倒産処理弁護士ネットワーク理事 等



高橋 直人

たかはし なおと

## 好奇心の赴くままに

現在私は、松山市に弁護士事務所を構え、個人や企業から依頼される一般の民事事件の他、清算型だけでなく事業の譲渡等を絡めた再建型をも含めた倒産処理等を多く手がけております。

既に弁護士となつて20年以上が経過し、本業以外にも、大阪時代には大学で非常勤講師を務めたり、愛媛に帰つてからも様々な場所で講演をする機会もあり、平成28年には同級生が西高で教師をしていることが縁でキャリアガイダンスも担当させていただきました。また、昨年度は愛媛弁護士会の会長職、日本弁護士連合会の理事の職も務め、本業以外の活動も多々行つてきており、このような活動は、面白そうなことをやってみたいという好奇心に基づくもので、その萌芽は西高時代に生じたのではないかと考えています。

私が西高時代から弁護士になるとの将来像を描いていたのであれば、きれいな筋書きになるでしょうが、田舎の高校生にすぎない私にとって、法曹界はテレビや小説の中のもので、全く現実的でない世界でした。

実際に私が西高時代に行ったことは、陸上競技部での活動がほとんどであり、結果的に100Mで高校2年、3年とインターハイに出場し、高校3年の時には愛媛県大会と四国大会で1位になりましたが、現在につながることはないようにも思えます。

また、陸上競技自体も中学校時代には経験がなく、西高に入学した際にも当初入部したのは、ガスコンロでインスタントラーメンを作っている姿を見て面白そうだと思つた登山部でした。その年愛媛県で行われた「55総体」に西高から出場している先輩がいると聞き、自分も陸上競技をやればインターハイに

出られるのではないかなどといった身の程知らずの好奇心で陸上競技部に入部したに過ぎませんでした。

陸上競技部に入部しても、当初は練習がきつく、体力的についていくことすら困難で、毎日、どのようにして練習をサボろうかとかばかり考えていたような気がします。その後、嫌でたまらなかつた練習も体力面で余裕ができ、相応の成績を残せるようになると、陸上競技にのめり込んでいきました。短距離の魅力の最たるものは、勝負に臨む際の逃げたくなるような緊張、スタート前の雑音が消え無音になる集中、その後勝利した際の悦楽であり、何物にも替えがたいものでした。

そのため、大学への進学も陸上競技を続けることが第一目標となり、私の中ではスポーツ推薦での大学に進学する方向に気持ちが傾いていました。しかしながら、このような甘い考えは、当時の担任の先生に一蹴され、スポーツ推薦で大学に入学した後の大学での厳しさとおまへなら今から勉強すれば受験に間に合うなどというおだてに乗せられ、8月の終わり頃から一般入試での進学に向け気持ちを切り替えることにしました。今から考えれば、クラスの中に受験勉強を度外視した者がいると、クラス全体の受験に対する士気が下がれることを懸念しての指導ではないかと疑う節もありますが、結果的に、この大学受験時の一般入試の経験が無ければ、その後の司法試験の受験勉強をしようという気になつていただかうか分かりませんが、ありがたうご指導であつたと思います。

なお、後に司法試験を目指すことになつたのは、西高時代に、学校の近くの映画館で見た「炎のランナー」という映画(20世紀初頭のオリンピックの100M優勝の選手が、

後に弁護士になつたとのストーリー)の影響が多分にあるのではないかといい気もしています。

もちろん大学に進学しても、当初の目標どおり陸上競技部に入部し、1回生の時から何度か試合に出る機会も与えてもらつていましたが、その後、怪我や人間関係の軋に嫌気がさして2年で退部し、その後の大学生活は、然したる目標もなく、友人と遊び、バイト代が貯まるとバイクで旅行に行つたりと大学生らしく過ごしました。ただ、大学を卒業する時になって、そのまま就職することの物足りなさを感じ、司法試験の受験を目指すことにしました。今考えれば、それほど勉強が好きでも得意でもなかつた自分が、合格率が2、3%の司法試験に挑むことは無謀とも思いますが、法曹界への好奇心と100Mで味わつた緊張感と、集中の過程を辿り明確な結果が現れる勝負の世界に身を置きたいとの考えには抗えなかつたのでしょうか。もちろん父母の理解がなければできなかったことはいふまでもありません。

このように、西高時代から現在までのストーリーを紡いでみましたが、自分自身で振り返ってみても場当たり的で一貫性がない流れを辿つていっていると感じています。ただ、単に面白いことに挑戦してみたいという好奇心の赴くままに進んだという点では、西高時代から一貫性があるのではないかと考えています。

現在は、さすがに多少の分別もでき、身の程知らずな挑戦をしようとは考えなくなりましたが、やはり好奇心に抗い難い性格は変わつておらず、ついつい面白そうなお話に参加してしまうこともままありますが、この性格がためにこの仕事を続けていけるのではないかとやむなく自賛している次第です。

# 同窓

文化面、産業界など各界  
同窓生をご紹介します

## 紹介

### さらなる高みを目指して

私が少林寺拳法を始めたのは5歳のとき。父が師で3歳上の姉が習っていたこともあり、気づけば私も道着を着て練習に通っていました。最初の頃はただ姉の真似をして何となく練習しているだけだった気がしますが、歳を重ね、大会に出るにつれて、私もいい結果を残したいと思うようになりました。始めは「市の大会で予選通過したい」という小さな目標から始まりました。しかし、その目標を達成するとさらに上の目標ができ、全国大会に出場することができるようになってからは、「全国の舞台で予選通過したい」という大きな目標になりました。

少林寺拳法の大会は、1人でする単独演武、2人1組でする組演武、6人から8人でする団体演武の3つに分かれています。大会は実際に相手と闘って勝敗を争うものではなく、演武をして技の正確さや表現度を点数化して競い合います。高校3年間、私は単独演武に出場して

いました。この競技は1分から1分15秒という制限時間のなかで6構成の演武をしなければならぬというルールがあります。大会の直前練習では、気持ちが焦ってタイムが1分を切ってしまったり、時間オーバーだったり、自分の感覚で調整するのはとても大変でした。その上、個人競技なので励まし合う仲間がいな

いため、

自分との闘いで心が折れそうになったり、大会を重ねるにつれ入賞して当たり前という周りからのプレッシャーに押し潰されそうになるときもありました。でも、大会前には壮行会を開いてくださったり、クラスの友達が応援の言葉をかけてくれたり、たくさんの方々の激励のおかげで少しずつ自信をもって大会に臨めるようになりました。

高校3年生のインターハイ。高校生活最後の大会ということもあり、私自身いつもより気合いが入っていました。会場の張り詰めた空気と周りの気迫を感じ、とても緊張しましたが、1年生の頃よりも堂々と演武することができました。そして、高校3年間ずっと目標にしていた全国の舞台で予選通過するという目標を達成することができました。決勝進出には届きませんでしたが、準決勝の舞台を初めて楽しむことができました。

3年間たくさんさんの大会に出場し、納得のいかない結果の時もありましたが、その悔しさがあつたからこそ四国大会で優勝、全国大会で予選通過をしたときは本当に嬉しかったです。

少林寺拳法を12年間取り組んできた中で、たくさんものを得ることができました。技を修練するだけでなく、挨拶や、言葉遣いといった礼儀作法も自然と身に

つきました。

少林寺拳法の教えの中に『力愛不二』という言葉があります。これは、「力のない愛は無力であり、愛のない力は暴力である。力と愛を調和させて行動の規範とすべきである。」という考え方です。

私はこの言葉のように少林寺拳法を通して、正義感や慈悲心などを少なからず持つことができました。まだまだ未熟ですが、この12年間で得たことを活かしてさらに自分を高めていきたいと思っています。

## Profile

5歳のときから少林寺拳法をはじめ	
平成27年度	愛媛県総体 2位 四国総体 2位 全国総体、全国選抜大会 出場
平成28年度	愛媛県総体 1位 四国総体 1位 全国総体、全国選抜大会 出場
平成29年度	愛媛県総体 1位 四国総体 2位 全国総体 準決勝進出
平成30年	新居浜西高等学校 普通科 卒業 立教大学 経済学部 入学



田中 沙耶加

たなか さやか



# の歩み

## 努力の天才

陸上競技部主将 戸屋 耀弘



陸上と聞くと、「走ったり跳んだりするだけで地味な競技」「面白くない」といった印象を受ける人が多いと思います。確かにシンブルなスポーツですが、面白く素晴らしい所がたくさんあります。まずは僕が陸上の魅力についてお話しします。

陸上には大きく分けて、走る種目のトラック競技と、跳躍や投てきなどのフィールド種目があります。その中でもさらに細かい競技に分かれます。そのため、自分にあった競技をすることができると一つの魅力です。また、努力が結果にとても直結しやすいので、自分の頑張り次第で記録が上がってくるのも面白いところです。陸上はリレーを除いて個人競技なので、自分の努力で全国にも、はたまた世界のステージにも立てる可能性があります。しかし、陸上の魅力は競技に関するだけでなくあります。それを僕に教えてくれたのは西高陸上部です。ここで西高陸上部について紹介しておきましょう。



お互い励まし合い日々頑張っています。試合の時は、競技するのは一人でもチーム全員で応援します。このように西高陸上部は、仲間を思いやり、全員で団結して頑張れる素晴らしい集団です。

さて、そんな西高陸上部の仲間、先生から僕はたくさんのお話を学びました。あいさつや礼儀はもちろんですが、僕が一番学んだことは目標に向かって努力し続けることです。僕は長距離をしています。実を言うと僕は走ることに嫌いです。走ることが嫌いなくせに長距離をしています。なぜこんな僕が長距離を選んだかという点、陸上の種目の中で最も努力が結果に結びつくからです。僕は努力さえすればいくらでも上に行けると簡単に思っていました。実際たくさん努力すれば結果はついてくると思うのですが、

僕は努力し続けることの難しさを陸上を通して味わいました。長距離ですからもちろんたくさん距離を走らなければなりません。皆さんも持久走などで経験したことがあると思いますが、もちろん走ることにしんどさや伴います。強くなりたい自分が逃げた楽になりたい自分がありました。いつも葛藤しながら、時にやめたいと思ったり、なかなか結果につながらなかったり、挫折の連続でした。でもそんな中一緒に頑張っている仲間の存在や、叱咤激励してくれる先生方のおかげで、僕はこれまで頑張ることができました。その結果、自分の記録も年々上がってきて、始めた時には考えられないタイムで走れるようになっていました。僕はこの経験を通して、自分を支えてくれる人の存在のありがたさ、そしていろんな失敗や苦しみをやる中でも、めげずに努力し続けることの大切さを学びました。こんな大切なことを教えてくれた西高陸上部のみんなにはとても感謝しています。

この経験はこれから先の人生においてきつと自分を助けてくれると思います。僕が西高陸上部に入ったときからずっとご指導してくださった田坂先生がいつも仰っていた言葉があります。「努力の天才になれ」この言葉通



り、これからたくさん困難があると思いますが、めげずに努力できる人間になりたいです。

# 部活動

## 食物部での活動

食物部部长 鈴木 咲希



私たち食物部は、3年生7人、2年生14人、1年生5人で顧問の宮崎素子先生のご指導のもと、日々活動しています。私が入学してからは、新校舎の調理室での活動となりました。部員一同、料理だけでなく調理室の管理においても、よりいっそう配慮して活動するようになりました。食物部は週に一度の活動ですが、それでもみんなが協力し合って楽しく活動しているの自信があります。その中のいくつかについて紹介します。

1つ目は、母親のありがたさを感じることができるところです。自分たちだけで料理を作ること

によって、毎日料理を作ってくれる母親への感謝を感じることができました。私たち食物部は班ごとに当番が回ってくるという出し、献立作成、分配まで自分たちだけで行います。そして、班のみんなが協力して調理から片付けまで行います。その一連の流れは思ったよりも大変で、常に一歩先のことを考え手順を考えたり、作る分量によって材料や調味料の分量を考えたりとても大変だと感じています。私たちにとっては日常的で当たり前のことになってしまっていますが、その当たり前は毎日の母親の苦労ゆえに成り立っていることに気づき、その気持ちを再確認することができました。

2つ目は、仲間と協力して成し遂げる喜びを実感することです。材料の買い出しや調理において、互いの知識や意見を出し合えばより良い方法が見つかり、おいしい料理を作ることができます。調理に限らず片付けの際も、周りをよく見て行動することで時間の短縮につながることも多くあり、

団結することの重要性を感じます。また、西高祭では毎年部員一丸となって調理した物を販売しますが、全員で意見を出し合いながら取り組み、やり遂げた時の達成感は素晴らしいものです。部員が一丸となったからこそ喜



びや達成感が感じられたのだと思います。班員全員が協力し合って笑いの絶えない雰囲気の中で毎回楽しく活動しています。

3つ目は、相手のために料理を作ることの喜びを感じることができるところです。私たちは1回の活動で3品ずつ作ることが多く、班の中で分担して作ります。班のみんなが口にするということもあり、味付けや切り方など家で料理をする時よりも慎重にしています。作る時は大変だけど、完成した後は班員が担当した人に「おいしい」「味付けバッチリ」などと言ってくれるのでその大変さを忘れるくらい心が温かくなります。そのときはとて

も嬉しくなり作ってよかったと思える瞬間です。学校の部活だからこそできるこの体験も魅力のひとつだと思います。私たちがこのような魅力を感じることができたのも、顧問の先生をはじめ多くの先生方、そして家族の支えがあるからだと思います。本当にありがとうございます。そして何よりも、今まで一緒に活動してきた先輩方、同級生、後輩のみんなのおかげで毎回笑いの絶えない楽しい活動をすることができました。この部活を通して学んだことを自信にして、今後の生活へ十分に発揮していきたいです。



# 母校の概況

Nihama-Nishi High School

## 101年目の第一歩を刻む



校長 玉井 広志

樟樹会の皆様には日頃から母校に対して格別のご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

私は本年4月、愛媛県総合科学博物館より着任いたしました。新任でございますので、不行き届きな面も多々あると存じますが、温かくご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、ご周知の通り本校は昨年記念すべき創立100周年を迎え、さまざまな行事が滞りなく行われ、成功裏に幕を閉じることができました。記念事業といは

ましては、同窓生の皆様からのご支援でグランドピアノを購入させて頂き、お披露目の演奏会を開催しました。校歌にも歌われる「緑の校旗」も新調され、さらに、同窓生の矢原繁長氏制作の「創立100周年記念オブジェ」が設置された中庭も完成しました。「思考」と題された記念碑を前に、ベンチで語り合う生徒達の憩いの場となっており、西高らしい哲学的な空間は、学び舎の象徴となることでしょう。

平成26年度にプールの取り壊しが始まった校舎改修の工事は、この3月にクラブハウスの建て替えの竣工をもって終了しました。また、記念事業の一環として記念会館が美しくよみがえり、第2グラウンドも整備され、素晴らしい教育環境が整いましたことをご報告申し上げます。これもひとえに同

窓会の皆様のご尽力の賜物と心より感謝いたしております。

101年目の第一歩となる本年は、全日制に265名の新入生を迎えて3学年で813名、定時制が12名の新入生と2名の編入生を迎えて67名となり、全校生徒880名で順調にスタートしました。しかし、定員を下回っておりますことには常に危機感を持ち、



クラブハウス

近隣中学校への働きかけや魅力的な学校創りを通して、さらに地域に愛され慕われる西高にしていきたくと考えております。

そのためには、まず「魅力ある進学校」を合い言葉に学校現場一丸となって、志望校に進学できる確かな学力をつけることが肝要でしょう。昨年度全日制の進路状況は、国立大学合格者が140名で、うち難関と言われる大学にも京大3名・阪大4名を含む14名が、医学部にも3名が合格と健闘いたしました。本校の特色でもあります改編された理数医療類型から、さらに地域医療に貢献できる人材が輩出できることを期待しています。

つぎに、部活動の振興も魅力づくりにほかせない要素となります。先日の県総体東予地区予選に参加した全ての部活動が県総体へ

の出場権を得、男子105名女子97名の202名が練習の成果を発揮することとなりました。これは昨年度の実績を上回るとともに、200名を超えるのは数年ぶりのことで喜びもひとしおです。また、文化部も、将棋・放送・写真部が8月に長野で行われる第43回全国高等学校総合文化祭の出場を決めており、活躍の場を広げています。

今後とも「知・力・体」をバランス良く備えた、自己実現できる生徒の育成に努めていくことを肝に銘じて、「西高に入って良かった」「ここが私の母校です」と将来にわたって誇りを持てる学校となるよう、教職員一同努力していく所存でございます。今後とも、樟樹会の皆様には、どうか一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## ▼ 教職員の異動

### 《転入》

校長	玉井 広志 (総合科学博物館)
教頭	鈴木 斎 (川之江)
事務長	松岡 英次 (新工)
地公	松木 美喜 (今北)
地公	清水 隆弘 (新採)
地公	赤壁 一彦
理科	田頭 邦弘 (小松)
保健	財津 長文 (丹原)
英語	和田 哲志 (三島)
英語	福本 拓真 (松商)
家庭	伊藤 弥生 (西条)
養護	渡邊 由美 (今特)

### 《転出》

校長	村上 敏之 (松山東)
教頭	松浦ヨリ子 (小松)
事務長	松木 和行 (退職)
地公	松木 洋 (丹原)
地公	楠岡 誠 (今工)
地公	塩崎 勇人 (退職)
理科	足立 忠司 (川之江)
理科	吉田 弘 (西条)
保健	奥出 克樹 (小松)
英語	日野 右子 (新特)
英語	河野 雄太 (三崎)
家庭	小池 千尋 (西農)
養護	久門 順子 (退職)
事務	加藤 恵理 (みなら)

## ▼ 同窓の教職員

### (氏名) (卒業年) (教科等)

甲斐 誠 (昭和50)	数学
(再任用)	
五味 昭秀 (昭和53)	教頭
亀尾 千春 (昭和53)	事務
鈴木 斎 (昭和56)	教頭
渡辺 一生 (昭和56)	数学
吉田 明正 (昭和56)	理科
武智 優子 (昭和56)	英語
藤田 利架 (昭和56)	英語
鈴木 一宏 (昭和58)	保健
塩崎 美都 (昭和63)	国語
藤澤 真美 (昭和63)	英語
小池 佳子 (平成9)	英語
倉光久美子 (平成11)	理科
吉村 新平 (平成15)	数学科



## ▶ 大学合格一覧

最近3カ年の総合合格者と、大学別合格者の一部を紹介(過年度生を含む)

	28年	29年	30年
国公立大	164	136	140
私立大	465	312	337

北海道大	0	2	0
東北大	0	0	0
東京大	1	0	0
名古屋大	0	0	2
京都大	0	2	3
大阪大	3	4	4
神戸大	6	2	4
岡山大	17	16	7
広島大	8	3	4
愛媛大	39	30	32
九州大	4	2	1

## ▶ 年間行事予定

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	月																															
20	1	26	19	8	20	29	17	16	9	2	6	2	27	20	27	14	1	15	6	9	日																						
3学期終業式		全日制卒業式・定時制卒業式		学年末考査(3月5日)		大学入試センター試験(20日)		3学期始業式		2学期終業式		2学期期末考査(12月5日)		定時制運動会		県高校総合文化祭(18日松山市周辺)		2年生修学旅行(13日)		2学期中間考査(12日)(1・3年生)		2学期中間考査(5日)(2年生)		運動会		定時制・通信制県総合体育大会		2学期始業式		1学期終業式		1学期期末考査(7月3日)		西高祭		県高校総合体育大会(4日松山市周辺)		1学期中間考査(18日)		PTA総会		全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式	



速報

6月16~18日  
四国高校総合体育大会  
陸上競技

村上尚平君 800m 1位  
西原愛華さん 1500m 1位  
(3000m 2位)

2名3種目  
インターハイへ

平成30年度愛媛県高等学校総合体育大会 結果一覧

6月1日から4日にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも203名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は下記の通り。

●陸上競技部

- 男子
- 100m 青木健悟
  - 400m 村上尚平
  - 800m 村上尚平 1位(四国大会出場)
  - 3000mSC 戸屋耀弘
  - 5000mW 石川遙己 8位
  - 三段跳 青木健悟
  - 4×400mR 久保・村上・戸屋・宮武
- 女子
- 800m 藤田実奈
  - 1500m 西原愛華 3位(四国大会出場)
  - 3000m 西原愛華 4位(四国大会出場)
  - 100mH 小野 心
  - 400mH 小野 心
  - 4×400mR 喜馬・藤田・小野・川路

●バスケットボール部

- 男子
- 1回戦 新居浜西 65-104 松山聖陵
- 女子
- 1回戦 新居浜西 43-95 済美

●バレーボール部

- 男子
- 1回戦 新居浜西 0-2 松山聖陵
- 女子
- 1回戦 新居浜西 2-0 川之江
  - 2回戦 新居浜西 0-2 八幡浜

●バドミントン部

- 男子団体
- 1回戦 新居浜西 3-1 聖カタリナ
  - 2回戦 新居浜西 1-3 三島
- 男子個人ダブルス
- 1回戦 村上 諒・加藤隆太郎 0-2 鎌田・神山(新田)
- 男子個人シングルス
- 1回戦 村上 諒 1-2 石橋(新田)
  - 加藤隆太郎 0-2 黒川(松山南)

女子団体

- 2回戦 新居浜西 3-0 北条
  - 準々決勝 新居浜西 3-2 松山商
  - 準決勝 新居浜西 1-3 新田 3位(四国大会出場)
- 女子個人ダブルス
- 1回戦 藤田萌霞・岩間有澄 0-2 宮本・平井(新田)
  - 荒巻侑夏・園部愛佑美 0-2 黒川・西岡(新田)
- 女子個人シングルス
- 1回戦 佐藤美志 0-2 渡部(松山東)
  - 岩間有澄 0-2 新井(松山商)

●卓球部

- 男子個人シングルス
- 1回戦 池本貴俊、曾我部拓真
- 男子個人ダブルス
- 1回戦 曾我部拓真・越野太智
- 女子団体
- 1回戦 新居浜西 1-3 伯方

●ソフトテニス部

- 男子団体
- 1回戦 新居浜西 1-2 三瓶
- 女子団体
- 1回戦 新居浜西 0-3 野村
- 女子個人
- 1回戦 桑内真由・下村桃子ペア 紙本愛梨・藤田美浩ペア 重松音緒・鈴木詩世ペア 続木千春・奈島千絵ペア
  - 2回戦

●ハンドボール部

- 1回戦 新居浜西 20-13 松山商業
- 2回戦 新居浜西 8-27 松山工業

●サッカー部

- 1回戦 新居浜西 0-5 新田

●剣道部

- 男子団体
- 2回戦 新居浜西 1-1 松山工業 (代表戦勝ち)
  - 3回戦 新居浜西 1-3 今治南 (ベスト16)
- 男子個人
- 1回戦 沼田、村上
  - 2回戦 原田

●弓道部

- 男子団体 17位 予選敗退
- 女子団体 9位 予選敗退
- 女子個人 筒井美羽 決勝進出 7位

●登山部

- 男子団体 6位

●ダンス部

- 「喝」 7位

●テニス部

- 男子団体
- 1回戦 新居浜西 1-2 今治北
- 女子団体
- 1回戦 新居浜西 3-0 今治精華
  - 2回戦 新居浜西 2-1 北宇和
  - 3回戦 新居浜西 1-2 松山中等 (ベスト8)

- 女子シングルス ベスト16 金子あゆ
- 女子シングルス ベスト32 高橋美聡
- 女子ダブルス ベスト8 金子あゆ・高橋美聡ペア

●新体操

- 団体 3位(四国大会出場)
- 個人 山本花奈 ボール3位 総合6位 近藤美月 総合18位 由雄咲愛 総合20位 富永莉子 総合22位 横井香凜 総合23位

文化部 大会結果

●放送部

- 第57回愛媛県高等学校放送コンテスト 総合優勝(3回目)
- アナウンス部門 北川瑠菜 優秀賞(全国大会出場)
- 永山みのり 優良賞
  - 車谷郁実 決勝進出
- 朗読部門 青野夏月 優秀賞(全国大会出場)
- 原 一誠 優秀賞(全国大会出場)
- ラジオドキュメント部門「フラ高生」
- 優秀賞(全国大会出場)
  - 青野夏月 竹野姫果 原 一誠
- テレビドキュメント部門「自習室がほしい！」
- 優秀賞(全国大会出場)
  - 伊藤公実 伊藤あいか 車谷郁実
- 創作ラジオドラマ部門「パンツ女」
- 優良賞 北川瑠菜
- 創作テレビドラマ部門「実は私ね、」
- 最優秀賞(全国大会出場)※3年連続
  - 入屋早紀 川崎圭悟
- 上記全国大会とは、第65回NHK杯全国高等学校放送コンテスト  
他に、アナウンス部門で北川瑠菜が全国高等学校総合文化祭長野大会に出場

●囲碁・将棋部

- 第42回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会
- 交流戦 男子6名出場
- 第42回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会
- 男子団体戦 A：今村洗太・真鍋 悠・篠永智宏 3位
- B：上藤大和・重松敬明・宮崎太晟
- 1回戦 新居浜西 A 3-0 松山北 B
  - 新居浜西 B 1-2 松山南 A
  - 2回戦 新居浜西 A 2-1 済美平成
  - 準決勝 新居浜西 A 1-2 新田 A
  - 3位決定戦 新居浜西 A 3-0 松山南 A

- 女子団体戦 徳永涼乃・高橋美羽・柴岡ほのか 2位
- 1回戦 新居浜西 3-0 今治西 B
  - 決勝 新居浜西 1-2 今治西 A
- 男子個人戦 10名出場
- 高橋泰真 ベスト16
  - 5名出場
- 女子個人戦 徳永涼乃 2位 (全国高等学校総合文化祭長野大会出場)
- 高橋美羽 ベスト8
- 第42回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会愛媛県大会
- 段級位認定戦 男子11名 出場
- 初級者大会 男子2名 女子2名 出場
- 男子団体戦 A：藤田大樹・高橋泰真・白田雄一郎 7位
- B：篠永智宏・廣瀬遥史・勝田簡也 6位
  - C：秋吉亮佑・白石 希・高見晃平 5位
  - D：上藤大和・真鍋飛来・宮崎太晟 8位
- 第1試合 新居浜西 A 0-3 松山東 A
  - 新居浜西 B 0-3 松山工 A
  - 新居浜西 C 2-1 松山工 B
  - 新居浜西 D 1-2 松山東 B
  - 第2試合 新居浜西 A 3-0 新居浜西 D
  - 新居浜西 B 1-2 松山工 B
  - 新居浜西 C 1-2 松山東 B
  - 第3試合 新居浜西 A 1-2 松山工 B
  - 新居浜西 B 3-0 新居浜西 D
  - 新居浜西 C 0-3 松山東 A
- 女子団体戦 徳永涼乃・高橋美羽・柴岡ほのか 3位
- 第1試合 新居浜西 0-3 宇和島南
  - 第2試合 新居浜西 0-3 愛光

# 新居浜の動き

## 新居浜

Hello!  
NEW

### 新しい新居浜 はじめます

新居浜市では、「住みたい、住み続けたい、あかがねのまち」を目指して、平成27年度に新居浜市総合戦略を策定しましたが、その実現に向け、市の魅力・個性を市内・外に認識してもらい、市の良いイメージを高めるための戦略、「シティブランド戦略」を平成28年度に策定しました。

シティブランド戦略では、「Hello! NEW新居浜」をスローガンに掲げ、ヒト、モノ、コト、いろいろなワクワクがあふれるまちを目指し、みんなが主役、みんなが誇れる、そしてみんなに愛される、新しい新居浜をつくるための活動をスタートしました。

平成29年度には、6月に市長をはじめ子育て世代のママ、赤ちゃんも加わったブランド戦略宣言イベントが開催され、その後、7月、9月には、様々な年代、居住歴の市民が集い、新居浜の未来や好きな場所について語り合う、「新居浜みらい会議」が実施されました。その他、市内全戸へのタブ

ロイド紙の配布(3回)や、市内各所でのポスターの掲示、SNSでの情報発信などを行い、ロゴマークを活動のシンボルとして広く認知してもらうための活動、市民の新居浜への誇りと愛着を高めるための活動を行ってきました。

平成30年度には、昨年度の取組をさらに加速し、「市民とともに、動く、動かす」をテーマに、市外の人のファンづくりに向けた取組も推進していきます。

詳しくは、QRコードから公式ウェブサイトをご覧ください。



問合せ 新居浜市地方創生推進課  
☎0897(65)1238

### Hello! NEW新居浜 FM78.0が開局しました

昨年11月1日から試験放送を行っていたコミュニティFM(Hello! NEW新居浜78.0)ですが、4月1日から本放送が始まりました。

コミュニティFMは、総務省の「災害情報伝達手段等の高度化事業」の採択を受け、事業化されたものです。

この放送局は、地域密着メディアとして、通常時は、地域の産業・行政情報など地域情報に特化した自主製作番組、市民参加型のコミュニティ番組を提供し、災害発生時には、避難勧告などの災害情報を優先的に放送します。

また、放送については、行政情報配信アプリ「新居浜いんふお」などからも視聴できます。ぜひ、一度お聞きになってはいかがでしょうか。

### マイントピア別子「別子1号」がリニューアル

新居浜の観光スポットといえば、新居浜市発展の礎となった別子銅山のテーマパークである「マイントピア別子」が浮かびます。訪れた観光客の皆さんを観光坑道に誘うのが、日本初の山岳鉱山鉄道であった住友鉱山鉄道の「別子1号」をモチーフにした観光列車です。

この「別子1号」も、平成3年のオープン以来、27年間運行してきましたが、経年劣化のため、新たに製作することとなりました。新居浜市は、住友企業を中心とした「ものづくり」の町であることから、市内で製作できる企業を検討していたところ、新居浜・西条地域の中小鉄工業78社で組織されている新居浜機械産業協同組合の設立30周年記念事業として製作に取り組みこととなりました。

現行同様、明治26年に導入された鉱山列車をモデルにした蒸気機関車が、別子銅山の坑道を走っていた一般用のかご電車や一般客車バリアフリー客車などをけん引します。最後尾の電気機関車は、昭和25年に下部鉄道が電化された際に導入された電気機関車がモデルで、お子さまにも運転体験ができるようになっております。

来年2月にお披露目の予定です。



上段がリニューアルされる「別子1号」  
下段が現行の「別子1号」

### 新居浜ふるさと映画「ふたつの昨日と僕の未来」が完成しました

昨年度市制施行80周年を迎えた記念事業として製作された、新居浜ふるさと映画「ふたつの昨日と僕の未来」が完成しました。愛媛県出身で、「瀬戸内海賊物語」などのメガホンをとった大森研一氏が監督を、昨年の同窓会誌にも寄稿いただいた、本校卒業生で脚本家の福田卓郎氏が脚本を担当されました。

主演は「仮面ライダー鎧武/ガイム」では主人公の鎧武役を務め、更なる飛躍が期待される佐野岳さん。ヒロインには連続テレビ小説「とと姉ちゃん」で主人公常子の妹役を好演し、「コウノドリ」など話題のドラマに出演し続ける相楽樹さん。また、主題歌は作品の舞台である新居浜市出身で同市の観光大使も務める水樹奈々さんが担当されました。

市役所の観光課で働く主人公。ある日、別子銅山の観光案内中に不思議な坑道に迷い込む。そこでの主人公は、自身が理想としていた成功者。そして家には喧嘩別れしたまま亡くなった父親が生きていた……! もう一つの新居浜の虚像に魅せられる主人公……。自分のすべきことは? 本当の自分とは? 一つの新居浜を奔走する男のファンタジックヒューマンストーリーとなっております。

上映は、秋頃に新居浜を皮切りに、中四国や大阪、東京などで予定されています。

問合せ 新居浜ふるさと映画実行委員会事務局  
(あかがねミュージアム内)  
☎0897(31)0305

# 本部だより

## 平成30年度 事業計画 (案)

月 日	会 合 名	事 業 内 容
3月19日	樟樹編集委員会	「樟樹」29号印刷所承認・概要相談
4月12日	会 計 監 査	平成29年度会計帳簿類
4月16日	樟樹編集委員会	「樟樹」29号原稿依頼先および担当者決定
4月17日	第一回常任理事会	平成29年度 事業報告 平成29年度 会計決算報告 平成29年度 会計監査報告 平成30年度 役員改選 平成30年度 事業計画案審議 平成30年度 予算案審議 平成30年度 総会・懇親会開催準備について その他
5月7日	樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ
5月17日	第一回理事会	第一回常任理事会と同内容
5月21日	樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月28日	樟樹編集委員会	校正
6月3日	東日本樟樹会総会	樟樹会本部より若干名出席
6月5日	第二回常任理事会	平成30年度 総会・懇親会開催準備について 総会の議事内容、運営方法、会員券の販売 招待者、チラシ、ポスター等 その他
6月5日	第二回理事会	第二回常任理事会と同内容
6月5日	樟樹編集委員会	最終校正
6月14日	西高祭支援	チャリティーバザー模擬店出店 西高どら焼き販売
7月7日	近畿くすのき会総会	樟樹会本部より若干名出席
7月15日		「樟樹」29号 発行
8月4日	総会・懇親会	平成29年度 事業報告 平成29年度 会計決算報告 平成29年度 会計監査報告 平成30年度 役員改選 平成30年度 事業計画案審議 平成30年度 予算案審議 その他
1月下旬	第三回常任理事会	平成30年度の反省及び平成31年度の予定 同窓会入会記念品及び同窓会賞について その他
2月上旬	第三回理事会	第三回常任理事会と同内容
2月下旬	同窓会入会式	新会員へ入会記念品贈呈
3月上旬	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制 定時制 若干名) 50年前(昭和44年)の卒業会員を招待
備 考 『松山樟樹会』来年11月頃 総会開催(隔年) 予定		

## “合格シール”のこぼれ話

お気付きでしょうか？

西高祭チャリティーバザーで、同窓会が販売する“西高どら焼き、に付録の、“合格シール”が、リニューアルしたことを…。

一宮神社で合格祈願の祈禱を受けたシールを、たこ焼き・焼きそばパックに貼って生徒さんに提供を始めて10年が過ぎ、昨年でシールの在庫はなくなりました。すでに平成26年の西高祭バザーで、“合格たこ焼き・焼きそば”の販売が終了していたので、ようやく“合格シール”の役目も終わるかと思われましたが、存続希望の声が多くあり、シールの再印刷を依頼することとなりました。

ねじり鉢巻きを締めた真っ赤な蛸と、波を表した焼きそばが、ユーモアにあふれています。

実はこの蛸、きりっと濃い眉がたいへん印象的ですが、10年前のシールには無かったのです。そう原案が復活したのです。

生徒さんのこれからの進路に合格をもたらすよう、睨みをきかせてくれるようですね。



合格シール発案者の名言より

“このシールは、一宮神社にて、志望校へ合格するようご祈禱していただいております。

ノートなど文具に貼っておくと効果が倍増するかも知れません。

1年生は、3年間かけて3枚集めると、効果抜群かも！、

## 平成29年度 樟樹会一般会計収支決算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

項 目	29年度予算額	29年度決算額	備 考
前年度繰越金	3,436,992	3,436,992	
収入の部			
入会金(全日制)	2,742,300	2,663,100	807人(延べ人数)
入会金(定時制)	267,300	217,800	22人
雑収入	10,000	37,229	預金利息・貯金利子・会員名簿販売他
運営会費	1,300,000	863,000	運営会費 153件 1口 3,000円から 賛助会費 32件 1口 10,000円から
収入合計	7,756,592	7,218,121	
支出の部			
会 合 費	400,000	477,403	理事会・総会補助
慶 弔 費	50,000	30,000	餞別・香典
人 件 費	1,440,000	1,440,000	賃金
事 務 費	50,000	41,793	
事業費			
同窓会賞	15,000	15,000	全日制 2名 定時制 1名
入 会 祝	328,320	300,067	全日制275名 定時制20名
支部への補助金	90,000	90,000	各支部総会 お祝い金
旅 費	130,000	130,000	各支部総会出席
生徒への補助金	500,000	480,000	全国大会補助
その他の事業費	100,000	180,122	高校野球広告料 50年目の卒業式経費
通 信 費	200,000	292,857	電話代 切手・葉書代
雑費・予備費	200,000	245,145	運営会費徴収に関する費用他
周年事業積立金	500,000	500,000	特別会計へ振替
次年度繰越金	3,753,272	2,995,734	
支出合計	7,756,592	7,218,121	

## 平成30年度

## 総会および懇親会のご案内

日 時 平成30年8月4日(土)

総会および懇親会

受付 17:00 ~

時間 18:00 ~ 21:00

場 所 ユアーズ

新居浜市泉宮町5-8

TEL 0897-33-3535

チケット 3,000円(一般会員)

1,500円(平成23年以降卒業会員)

当日も受付けます。

ご要望に応じて、同期生・部活等の

テーブルをご用意します。

# 還暦を迎えて



## ご縁に感謝！

加藤 弘 正（昭和52年卒）

西高を卒業して42年、『光陰矢の如し』を実感しております。最近、『松山樟樹会』の世話役をするようになり、母校に関わることが多くなりました。

思い起こせば、田舎の中学から西高に入学したのが45年前。中学ではそこそこの成績でしたが、街中の同級生には圧倒されました。勉強だけでなく、長髪で、身のこなし方もスマートでした。当時の校長は木村悠先生。「西高は国立大学に現役で〇〇〇名入学する」ことが目標のような雰囲気があり、『半狂乱の百日』のお話は今でも覚えています。（歯科技工士・歯科衛生士学校の教壇に立った時、引用させて貰っています）

方針に逆らうことなく、私も国立大学への現役合格を目指しました。夏の暑い日に廊下に机を出して自主勉強したことを思い出します。高3の秋、これといってなりたない職業がないまま、偏差値重視で受験校を決めました。年が明け、過去問を解いてみてビックリ。合格点に達したり達しなかったりで、非常に焦りました。結果、志望校に不合格：挫折を味わいました。

失意の中、二期校に入学しました。

そこで浪人して来た同級生から「たった一度の人生、一回位失敗したからといって諦めるのはまだ早い。」と云われ、7月から意を決し予備校、そしてその提携寮にも入りました。そこでも又、カルチャーショックを受けます。

皆さん、一日中机に向かっているのです。自分には彼らほどの集中力がなく、彼らの勉強している姿は大いに刺激になりました。その寮で出会いがあり、医療の道に進みたいと考えるようになったのです。それから受験校の傾向と対策に力を注ぎ、集中しました。まさに木村校長先生が云われていた『半狂乱の百日』を実践出来たと思います。

その甲斐あって、本番は上出来。また、親の収入が少なかったこともあり、1年次は授業料全額免除でした。しかし、全学の少林寺拳法部の活動に精を出し過ぎ、2年生からは半額免除になつてしまいました。少林寺拳法部に入部を決めたのは、本部が四国の多度津というところで、周りに少林寺拳法をやっていた人が多かったからです。練習は非常にきつかったですが、合宿等を通

じて一生の友達が出来ました。公務員、会社員、医者、弁護士等、同期21人、年に1回は集まって近況報告等行っています。

大学生活は部活動、大学祭等に熱中。肝心の学業は落ちこぼれでも何とか卒業。就職は、一から指導して貰えるHPI（ヒューマン・パフォーマンス研究所）に入所しました。

3年半で一通りの歯科治療が出来るようになり、それから4年後には、縁あって松山で歯科医院を開業しました。当時の松山市歯科医師会は閉鎖的で、新居浜出身の自分はなかなか受け入れてもらえませんでした。そんな時、「松山樟樹会」の案内が届き、参加したのがきっかけで母校に関わることが多くなりました。

それから10年後には事務方として會長を支え、3年後には會長となりました。西高時代、生徒会活動等に無関心だった私が、西高同窓会のお世話をさせて頂くようになったのも同郷のご縁だと思い、「松山樟樹会」を盛り上げるよう取り組んでいます。

先日、前新居浜西高校長の村上先生が松山東高校長に着任されました。又、事務長の近藤さんが1年余りの東京勤務を経て、松山三越の取締役として帰

松されました。この2つの祝賀会を平成30年5月1日に開催しました。（写真）



そして、今年は還暦同期会を開催します。昭和52年卒業の同期生はお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。11月10日（土）18時、場所は東京第一ホテル松山です。

連絡はEmail:h-katoh@dsc-kiari.com  
まで、よろしくお願ひします。

# よりだ部々

## 東日本樟樹会

### 第10回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第10回総会と懇親会は、6月3日(日)東京都千代田区「アルカディア 私学会館」で開催されました。出席者は、来賓として五味昭秀教頭先生、畑田雅敏樟樹会会長、妹尾次郎次期樟樹会会長、及びゲストスピーカーとして声楽家の安富泰一郎氏(新居浜西高平成7年卒)をお招きし、総勢で62名でした。昭和28年卒業の方から、平成21年卒業の方まで幅広い年次の同窓生が出席し、ご夫婦での参加が1組ありました。今回は特に女性の出席が目立ちました。

総会では井上会長の開会挨拶の後、来賓の五味教頭先生から母校の現況について、畑田樟樹会会長からは樟樹会の活動等についての報告がありました。続いて幹事事務局から昨年度の収支報告及び役員改選(全員留任)について説明があり、全会一致で承認されました。ゲストスピーカーの安富氏からは「歌うこと」をテーマに、声楽家の日頃耳にできない本音、また公演各地でのエピソードなどを軽妙な語り口で紹介いただきました。

懇親会では新居浜市に関するクイズ大会が催され、懐かしい賞品(うどん、パン豆、万長ラーメンなど)もあり、ふるさとの言葉が飛び交う中、頭をひねりながら楽しい時間を過ごしました。最後に声楽家の安富氏を交え、出席者一同で新居浜西高の校歌を斉唱し、懇親会を締めくくりました。次回は来年6月2日(日)に同会場「アルカディア 私学会館」で第11回総会、懇親会を開催する予定です。

記 大澤明文(昭和44年卒)



## 近畿くすのき会

### 第22回近畿くすのき会総会・懇親会

西高創立100周年、近畿くすのき会創立30周年となった記念すべき第22回総会は、平成29年7月8日に大阪の新阪急ホテルで100人を超える会員が参加して開催されました。100周年は100人を超える参加者で祝おうと、村上健治会長を先頭に、1年前から同窓生に参加を呼びかけて目標を達成しました。

総会には樟樹会から畑田雅敏会長、西高からは村上敏之校長が参加されました。総会後の記念講演では石川勝行新居浜市長にお越し頂き、「これからの新居浜市」と題して、新居浜市の近況とこれからの展望をお聞きしました。変わりゆくふるさとの姿に、多くの人々が懐かしさを感じていました。

加藤幸則名誉会長の乾杯の音頭で始まった懇親会は、井上六郎東日本樟樹会会長からのご挨拶の後、恒例の宮本潤子さんの軽快な司会で盛り上がりしました。最後は、平成14年卒の全国サッカー選手権出場メンバーの力強い言葉で再会を約束して散会となりました。今回は昭和26年から平成22年卒までの幅広い年代が集う総会となりました。卒業後、近畿に出てきた大学生の参加もお待ちしております。

記 原田順子(昭和49年卒)



記 原田順子(昭和49年卒)

## 松山樟樹会

### 第11回松山樟樹会総会・懇親会

松山樟樹会の総会は3年に一回開催しており、第11回総会は、平成29年6月24日(土)午前11時、いよてつ会館(松山市大街道)で開催されました。いつもは、午後6時から開催していたのですが、今回は昼間の開催を試みました。しかし、45名の出席で、前回より少なくなりました。

総会では会長挨拶の後、畑田樟樹会会長から樟樹会の活動と、創立100周年にむけての報告とお願いがありました。続いて村上校長からは母校の現況報告をして頂きました。その後、議事に移り、会計報告等、承認されました。講演会は、平成6年卒の福本拓元氏(株)ユーグレナ取締役)に『人と地球を健康にする「ミドリムシとは?」』をテーマに、起業した経緯、会社が飛躍した理由、ミドリムシの効用、今後の企業展開等、を熱く語って頂きました。

懇親会では新居浜大鼓祭りのDVDが流れる中、昭和34年卒〜平成22年卒までの出席者による自己紹介、近況報告等を行い、楽しい時間を過ごしました。次回は、2019年11月、昭和51年卒の有馬浩二氏(株)デンソー社長)をお迎えして講演会を開催したいと思っております。お誘い合わせの上、奮って参加して下さい。

記 加藤弘正(昭和52年卒)



松山樟樹会総会 平成29年6月24日 於いよてつ会館

同期会俾り

50年卒『還暦クリア同期会』



私達同期生すべてが60歳以上になつていた平成29年8月12日、曾我先生、玉井先生をお迎えし、リーガロイヤルホテル新居浜において還暦クリア同期会が開催されました。

24年前、初めての同期会では9名の恩師と115名が参加し大変な賑わいでしたが、回を重ねることに先細りで、今回はトホホの52名でした。

しかし、今回は坂上君の本誌27号、合田さんと加藤君のブログでの呼掛けなどで67名と盛り返しました。

フリーアナの宮本さんが司会進行、母校野球部監督として活躍した坂上君の挨拶で始まった同期会は、生徒会長だった伊藤君の乾杯を機に、瞬時に40数年タイムスリップ。会場は、当時の顔が見えてくる青春の学び舎に大変身しました。

記念写真も全員が一緒だと顔が小さくなって誰が誰だか判らん…ってことで、今回はクラス毎に撮影。これならサービスサイズでも老眼に優しいと好評でした。



祝還暦 50年卒 新居浜西高同窓会  
平成29年8月12日 於リーガロイヤルホテル新居浜

渡辺 淳也 (昭和50年卒)

3Eだった私は、玉井先生のお元気なお姿が見られたのも嬉しかったのですが、唐津から初参加の吉村君が福岡ソフトバンクホークスのユニホームを着て当時と変わらないやんちゃぶりを見せてくれたことが一番嬉しかったかもしれません。  
次の同期会は、東京オリンピック開催年に予定しているそうです。

同期会案内

昭和44年卒同期会

日時 平成31年3月1日(金)  
場所 未定 (本年12月ご案内予定)



50年目の卒業式後、100人集まるぞー

世話人代表 近藤 博司

昭和52年卒同期会

日時 平成30年11月10日(土) 18時  
場所 東京第一ホテル松山



還暦記念の同期会で～す

世話人代表 加藤 弘正

編集後記

一旦は中止となった6月12日の米朝首脳会談ですが、開催されること。世界平和(非核化)に向け、良い成果を出し、約束したことは是非履行してほしいものです。

さて、100周年記念の一連の行事もすべて終わり、村上校長はまさかの在任1年での転勤、畑田同窓会長の退任宣言と、ぽっかり穴が開いたような気がしないでもないのですが、玉井校長を迎え、妹尾樟樹会新会長も決まり、輝かしく101年目がスタートしております。

今号は4頁増(カラー)の100周年記念特集号となっており、購読申込者に加え100周年のご寄付をいただいた方にもお送りいたしました。  
(6月5日記 ひろ)

- 委員長 近藤 博司(昭44普)  
委員 武田 信之(昭28普) 織田 文生(昭60普)  
近藤 司(昭42普) 藤澤 真美(昭63普)  
畑田 雅敏(昭44普) 越智 孝司(平2普)  
石川美千子(昭47普) 日野 愛子(平12普)  
鴉 裕子(昭49普) 吉村 新平(平15普)  
妹尾 次郎(昭55普) 鈴木 雅大(平16普)  
安藤 寛和(昭58普)

発行所 樟樹会  
〒792-0024  
新居浜市宮西町4-46  
TEL 0897-3214331  
FAX 0897-3214331  
発行者 畑田 雅敏  
編集者 近藤 博司  
印刷所 株式会社サラト  
発行日 平成30年7月15日

